



武藏野路中  
上

特別  
R 3  
3967  
1



門 几 3  
號 3367  
1

昭和二十七年  
三月十七日  
購求

④



武藏野路州上

しゝゝあぶ。かけくしとゆぶさるれど。かたし  
乃ちよ。とかくし。びしせう。せうららる。あ  
ふし。し。お月れ。かたに。あち  
い。ぶさき。乃て。にゆ。

撃<sup>テ</sup>鼓<sup>ヲ</sup>普<sup>ク</sup>請<sup>ス</sup>三<sup>ニ</sup>四<sup>年</sup>。裁<sup>ハ</sup>松<sup>ヲ</sup>種<sup>ム</sup>竹<sup>ノ</sup>祖<sup>ノ</sup>翁<sup>ノ</sup>田<sup>ノ</sup>唯<sup>ニ</sup>今<sup>ハ</sup>呼<sup>テ</sup>  
秋<sup>ニ</sup>下<sup>リ</sup>山<sup>ヲ</sup>去<sup>リ</sup>。費<sup>シ</sup>送<sup>リ</sup>滿<sup>テ</sup>囊<sup>ニ</sup>富<sup>ム</sup>踏<sup>リ</sup>錢<sup>ニ</sup>。

むし。らぶ。かけ。し。ゆ。さる。れど。  
か。に。し。る。ん。と。ん。と。ん。と。ん。

ま。た。れ。ゆ。さ。る。れど。か。た。し。

い。は。か。た。に。し。る。ん。と。ん。

大江乃美し。と。ゆ。さ。る。れど。か。た。し。  
か。ぜ。し。ら。ぶ。か。け。し。と。ゆ。ぶ。さ。る。れど。

し。ら。ぶ。か。た。に。し。る。ん。と。ん。  
う。さ。る。れど。か。た。し。

山<sup>ノ</sup>の<sup>て</sup>て<sup>に</sup>。う。さ。る。れど。か。た。し。  
浮<sup>テ</sup>船<sup>ヲ</sup>淀<sup>リ</sup>水<sup>ニ</sup>游<sup>リ</sup>河<sup>ノ</sup>陽<sup>ニ</sup>登<sup>リ</sup>著<sup>ク</sup>山<sup>ノ</sup>崎<sup>ニ</sup>入<sup>リ</sup>州<sup>ノ</sup>房<sup>ニ</sup>眠<sup>リ</sup>月<sup>ノ</sup>臥<sup>ス</sup>  
雲<sup>ニ</sup>三<sup>ニ</sup>四<sup>日</sup>又<sup>タ</sup>呼<sup>テ</sup>柱<sup>ノ</sup>杖<sup>ヲ</sup>出<sup>ス</sup>南<sup>ノ</sup>光<sup>ヲ</sup>。

ゆきよかけくあれはまきとひんてい

花をもあはれうてゆく

きくこれにまかりく。十日の浦りさく  
われど。お月とまうむたらぬ。今よりそひら

竹第七尺伴吟身。艸履兩般回海濱千里奇

觀雙眼裏比來天下一游人

まうりこんねんねんまうりくまうりく

あやうまうりく。あやうまうりく

逆沙程仰どくたうまうりくまうりく

まうりくまうりくまうりくまうりく

まうりくまうりくまうりくまうりく

まうりくまうりくまうりくまうりく

まうりくまうりくまうりくまうりく

まうりくまうりくまうりくまうりく

まうりくまうりくまうりくまうりく

まうりくまうりくまうりくまうりく

まうりくまうりくまうりくまうりく

あうりく

わらわらともりごとく此をよとせりや

ゆきあふ坂へ神をわれは

まはらうららわらうららゆよ。うららうららあはらう。  
うつこのいしやれだうぐめあれば

打雨打風打出濱阿誰吸盡此湖人五十三

驛始知識參去參來入大津

いしあはらうららのしよやらあづまらふ

うららうららうららゆれさうまふ

うららうららゆれさうまふのうらうらたれも坂あ

ゆきあふ人あはらうられまうま格くうひにれ

ゆきあふまは所がゆきあふのま格乃わら

うららうららうららゆれさうまふさうまふ

うららうららうららゆれさうまふさうまふ

うららうららうららゆれさうまふさうまふ

うららうららうららゆれさうまふさうまふ

うららうららうららゆれさうまふさうまふ

うららうららうららゆれさうまふさうまふ

うららうららうららゆれさうまふさうまふ



まはらぬかきつゝまはらぬかきつゝまはらぬかきつゝ  
むすみやせむすみやせむすみやせむすみやせむす  
るるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる

りりりりりりりりりりりりりりりりりりりりり  
りりりりりりりりりりりりりりりりりりりりり

まはらぬかきつゝまはらぬかきつゝまはらぬかきつゝ  
から佛のまはらぬかきつゝまはらぬかきつゝまはらぬ  
まはらぬかきつゝまはらぬかきつゝまはらぬかきつゝ  
まはらぬかきつゝまはらぬかきつゝまはらぬかきつゝ  
まはらぬかきつゝまはらぬかきつゝまはらぬかきつゝ

まはらぬかきつゝまはらぬかきつゝまはらぬかきつゝ  
山あり。もみぢ。小指。象。まはらぬかきつゝまはらぬかきつゝ  
横田、水口、聽、鳴蛙。世上觀來、諍、角、蝸、弓、折、力  
窮、長、束、箭、不、逃、恰、似、斗、中、蝦。

まはらぬかきつゝまはらぬかきつゝまはらぬかきつゝ  
まはらぬかきつゝまはらぬかきつゝまはらぬかきつゝ  
まはらぬかきつゝまはらぬかきつゝまはらぬかきつゝ  
まはらぬかきつゝまはらぬかきつゝまはらぬかきつゝ





土山坂上有靈地。華表榜名正一位。林樾風  
清掃廟宮。水田村。壽連前翠。

はら山乃さうせうへんけんせせむ

たひしれまゝのけはまきしゆ

ら先よわれくじ。すくやほとこゆれど。みろと  
かきも。ゆりりして。あははごりうく。うらこい  
くごあしとれ。わんすうかて。うもあけよ  
なりねづらよ。まらして。八所坂も。まぐ。これのみ  
まぶ。人くゆ。まやじ。ほあられ。まゆ。

浪のまきけし。かきりよこ

此時自不度懸崖。無乃何由知旅懷泥滑。豈  
庸靈運。履石呈應。破惠休鞋。羊腸九折如臨  
壁。鈴鹿八町似踏階。帶雨笠。蓑隨步。重竹筇  
扶我伴。生涯。

たひむすむ。なうねすくやま

みりくろあまよ。われくじゆ

坂まご。りして。やせ川と。これだ。うらこい  
あま。ゆ。まらして。がみり

掲厲波濤。関河鎖日。滔九重天。雨暗八十  
瀨。流高水漲。青蛙醉浪。追白鷺。騷岸頭。姑放  
秋。拂露振薏毛。

うらぐささびあゆまはるるねすしう川

やせぬのふかきとらふしりてん

雨よぬくしりてん。あまのいしまやよる。しり  
すしりのせきとらふ。せきあありとらや。今ハ所のそを  
ありて。うれああり。うらのゆてれまのふのふ。  
地をすいらり。さきれそせぬの。あらうや。さこのめら

まよみ。みよ。これか。こよ。わら。ちま。こあ。る。左。右。まへ  
ちり。す。うら。あ。れ。ん。け。う。ん。か。ら。山。げ。ら。こ。か  
ん。せ。う。ら。て。ひ。う。の。こ。に。ゆ。げ。む。け。よ。ま。ひ。く  
あ。ら。ま。は。ら。あ。り。ま。ら。す。ま。ら。ん。よ。あ。ら。て。  
い。く。さ。し。

曳杖。届。關。驛。娼。家。呼。旅。客。相。尋。地。藏。堂。聞。説。  
頓。宮。跡。河。北。聳。三。峰。村。東。分。兩。陌。遙。望。神。道。  
山。離。過。長。堤。積。

うれんがぬれくさしりすしうやゆ

せむのしややれわきのうりらぎ

まじりしうらよぬれてこころを

かきらのやまもくもぐれゆく

はくもすれいせむしのまじりら。やよつてこ

て。松志げもさうあり。坂とのぼれを。かみやまの

まゆくあり。まのさけい。いよこまふれさうにびん

本にかけまほ。あざれ花ハ。ちりされよさけい。どの

がらくつさせぬ。あざらうら

千秋松樹裏。萬歳龜山里。抽翠竹篁黃。棄紅

藤葉紫。北連玄武峰。南傍關河水。驛路在。其

中。行人常遷也。

そよふいんちせれねとらひん

あつてあいのかかんやまはさ

かみ山とさう。たのちいけうあるあられ。

病はくこころ。あざのこころ。あつて。

まじりゆく

龜山、風景、水雲隈。鬱密松林驛路開。帶雨枝

垂。如道窄。遭風露散。似玉摧。一朝隱者有餘

食千歳太夫無盡裁僧取テ茯苓ラ濡菘笠シ童シ搔シ  
落葉破ラ莓苔ラ

かたらの松乃ちをせし物さあや

あつれいげふうやうか

かやま乃松のそ凡はゆふげを

おちりあふらめれひかんのり

かたらのつて庄のりやふするよ雨さうに

あつてさらのやうさうかむまもかごとす

まはとひほりかからしすまぬ

雨ふれしうにをせし物さあや

あつれいげふうやうか

かたらのつて庄のりやふするよ雨さうに

あつてさらのやうさうかむまもかごとす

まはとひほりかからしすまぬ

薬病有相應佛心無愛憎東方嚴土主西福  
寺中僧華發時多供月挑夜々燈通身堅固  
石珍重壽常恆

ちんひそーかささん乃れみの雨や





福<sup>○</sup>白浪捲雲憶業<sup>○</sup>平午睡熟時<sup>○</sup>船<sup>○</sup>著岸<sup>○</sup>熱田<sup>○</sup>  
宮畔各離行<sup>○</sup>

りわんせはあほのきんちがひんせいの  
あなをゆり〜んせいのせいの  
止見〜んせいのせいのせいの  
〜んせいのせいのせいのせいの  
せいのせいのせいのせいのせいの  
せいのせいのせいのせいのせいの  
せいのせいのせいのせいのせいの  
せいのせいのせいのせいのせいの

あ〜んせいのせいのせいのせいの  
海<sup>○</sup>の<sup>○</sup>せいのせいのせいのせいの  
〜んせいのせいのせいのせいの  
みらゆ〜んせいのせいのせいのせいの  
せいのせいのせいのせいのせいの  
〜んせいのせいのせいのせいのせいの  
〜んせいのせいのせいのせいのせいの  
〜んせいのせいのせいのせいのせいの  
〜んせいのせいのせいのせいのせいの

Handwritten text in a cursive script, likely a historical record or account. The text is arranged in approximately 10 horizontal lines across the page.

1114

Handwritten text in a cursive script, likely a historical record or account. The text is arranged in approximately 10 horizontal lines across the page.

1114



かきく〜のささ〜のささ〜のささ〜のささ〜  
ささ〜のささ〜のささ〜のささ〜のささ〜  
ささ〜のささ〜のささ〜のささ〜のささ〜  
ささ〜のささ〜のささ〜のささ〜のささ〜  
ささ〜のささ〜のささ〜のささ〜のささ〜  
ささ〜のささ〜のささ〜のささ〜のささ〜  
ささ〜のささ〜のささ〜のささ〜のささ〜  
ささ〜のささ〜のささ〜のささ〜のささ〜  
ささ〜のささ〜のささ〜のささ〜のささ〜  
ささ〜のささ〜のささ〜のささ〜のささ〜

八橋杜若問如何橋断萃殘見小河旅情無  
限業平詠愛戀有餘義雅歌

やう〜のささ〜のささ〜のささ〜のささ〜  
か〜のささ〜のささ〜のささ〜のささ〜  
や〜のささ〜のささ〜のささ〜のささ〜  
橋勢如弓影泛蛇水流似矢浪飛鵝看箭  
箭急湍上從張已來不敢拖





吟眸逐景過山中○赤坂華明長澤東留與定  
元離別淚○杜鵑吐血映山紅○

こやら山あがさしづきみきくはし  
りらるりどあはらるるのふら  
かきけみまぐれのみしをうれあり

いふくいさうのよきるるれららと  
すらひひらりあやもや。もわこれら。ほん野  
にかり。おひよゆきとらんえら。ら併これら。

あはらるる。かき。あはらるるのこゆき  
あはらるる。今けこゆかき。うーだゆ  
赤坂東方次届郵看來人物也風流摺女  
手執人袂假髮如雲濕御油

あはらるる。あはらるる。あはらるる  
ゆかん。あはらるる。あはらるる。あはらるる  
あはらるる。あはらるる。あはらるる。あはらるる  
あはらるる。あはらるる。あはらるる。あはらるる  
あはらるる。あはらるる。あはらるる。あはらるる  
あはらるる。あはらるる。あはらるる。あはらるる



魚蘆葉動青苗抽水吉田塘

雪ふるふらふらとれまのふかき

たふらふらふらとれまのふかき

そらうれまをうらうらとれまのふかき  
かきけりうらうらとれまのふかき  
うらうらとれまのふかき  
うらうらとれまのふかき  
うらうらとれまのふかき  
うらうらとれまのふかき

た風らうらうらとれまのふかき

ふみらうらうらとれまのふかき

うらうらとれまのふかき  
うらうらとれまのふかき  
うらうらとれまのふかき  
うらうらとれまのふかき  
うらうらとれまのふかき  
うらうらとれまのふかき

旅客戴星曉往還足音犯枕轉楚然返眠驛  
金州鞋活一錫拂雲出二川

うらうらとれまのふかき  
うらうらとれまのふかき  
うらうらとれまのふかき  
うらうらとれまのふかき

ねげげゆけらうらうらとれまのふかき

まよふのさうじ川やとどろき松林にうらやましく  
やまもとゆく程なまここのうらやましくうらやましく  
うらやましくうらやましくうらやましくうらやましく  
うらやましくうらやましくうらやましくうらやましく

三、遠分、雙岸、一橋、跨、兩州、頭邊、富士、露、脚下  
境、川、流、不、問、知、富、士、相、尋、見、境、溝、高、師、山、好  
景、歩、爽、吟、眸

みふしうにさうじ川やとどろき松林にうらやましく  
うらやましくうらやましくうらやましくうらやましく

そらうしうの風系、うらやましくうらやましく。松林にうらやましく  
かどうしうの風系、うらやましくうらやましく。松林にうらやましく  
とどろきうらやましくうらやましく

青山盡處。直觀瀛。旅客到斯。悉駐行。夕々々  
曛沈。汐暗。朝々々。景浴潮。明南溟。雲歛。垂鵬  
翼。北岸風興。吼巨鯨。窮目遠帆。分覆載。怒濤  
晝夜作雷鳴。

うらやましくうらやましくうらやましくうらやましく  
うらやましくうらやましくうらやましくうらやましく

とくちのこゝろをなごめしむるもの

よもやまのこゝろをなごめしむるもの

たけのこやゆげのこゝろをなごめしむるもの  
て。たのこやゆげのこゝろをなごめしむるもの  
よもやまのこゝろをなごめしむるもの  
たけのこやゆげのこゝろをなごめしむるもの  
よもやまのこゝろをなごめしむるもの  
たけのこやゆげのこゝろをなごめしむるもの  
よもやまのこゝろをなごめしむるもの

柳標扶<sup>テ</sup>吾<sup>ラ</sup>静<sup>ニ</sup>降<sup>リ</sup>山<sup>ヲ</sup>吟<sup>ハ</sup>眸<sup>ヲ</sup>飽<sup>テ</sup>見<sup>テ</sup>歩<sup>ス</sup>松<sup>ノ</sup>間<sup>ニ</sup>青<sup>ク</sup>猿<sup>ノ</sup>尋<sup>ハ</sup>

葉<sup>ヲ</sup>出<sup>テ</sup>青<sup>ク</sup>嶂<sup>ヲ</sup>白<sup>ク</sup>鷺<sup>ヲ</sup>追<sup>テ</sup>魚<sup>ヲ</sup>入<sup>レ</sup>白<sup>ク</sup>菅<sup>ヲ</sup>樵<sup>ヲ</sup>子<sup>ヲ</sup>舉<sup>テ</sup>鎌<sup>ヲ</sup>林<sup>ノ</sup>野<sup>ノ</sup>  
裏<sup>ニ</sup>農<sup>夫</sup>下<sup>ス</sup>鑿<sup>テ</sup>渚<sup>ヲ</sup>洲<sup>ヲ</sup>濼<sup>ヲ</sup>無<sup>ク</sup>聊<sup>ク</sup>乞<sup>フ</sup>丐<sup>ノ</sup>路<sup>ヲ</sup>傍<sup>ニ</sup>哭<sup>ク</sup>探<sup>テ</sup>盡<sup>ス</sup>  
囊<sup>ニ</sup>錢<sup>ヲ</sup>更<sup>ニ</sup>不<sup>レ</sup>慳<sup>ム</sup>

しるしに秘しむるもの

しるしに秘しむるもの

わらわらと笑ひてはなすもの

しるしに秘しむるもの

しるしに秘しむるもの





きしんてい海なるしんあま  
く海を川ちりちりよむけしんいん  
人ヤたらぬじんしんあま

くしんあまのしんあま  
しんあまはすしんあま  
うせしんあまのしんあま  
こゆびしんあまのしんあま  
そしんあまのしんあま

新居為舊住今断成古渡風起激湍鳴潮來

波浪怒濱名江上浮富士眼前露元政不問  
知法源無好句

あしぬあしんあまのしんあま  
あしぬあしんあまのしんあま

あしぬあしんあまのしんあま  
あしぬあしんあまのしんあま  
あしぬあしんあまのしんあま  
あしぬあしんあまのしんあま

















才のこれよかきまじしはまぢり  
とつげのまゝのま  
とつげのまゝのま  
あつてふゆまのづれとあられり

昔時見付物忽レ今日人優國府中チ獨立テ井  
邊憐阿佛ヲ又游驛踏憶元公ヲ

せうれきり力のあくれあつとせりふ  
ははつげれまゝのま

とつげのまゝのま  
とつげのまゝのま  
とつげのまゝのま

とつげのまゝのま  
とつげのまゝのま

高捧玉鑑見付臺風磨山面絶塵埃阿脩恥  
醜鐵圍外歷倒須弥半片開

とつげのまゝのま  
とつげのまゝのま

とつげのまゝのま  
とつげのまゝのま  
とつげのまゝのま  
とつげのまゝのま

みよ世にやういふとよけり不朽のうらむ不朽  
乃をばうらむとよけり

一橋長跨三香野。塵世有之乎者也。想像宗  
尊左道悲恨遺不朽脚跟下。

くらむ世に名もこころにわらむ世のうらむ

あふみかたうらむとよけり

うらむとよけりとよけりとよけりとよけり

あふみかたうらむとよけり

くらむ世に名もこころにわらむ世のうらむ

くらむ世に名もこころにわらむ世のうらむ

あふみかたうらむとよけり

くらむ世に名もこころにわらむ世のうらむ

あふみかたうらむとよけり

おのれいひて

熊野三山遷木原。木原鬱々聳樓門。一朝光  
廣成吟詠萬歲歌。人知此村。

あふみかたうらむとよけり

くらむ世に名もこころにわらむ世のうらむ







Handwritten text in Arabic script, consisting of approximately 12 lines of dense cursive script.

Handwritten text in Arabic script, consisting of approximately 12 lines of dense cursive script.







